

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



お楽しみ会特集①～年長さん～

年長さんの「お楽しみ会」が行われました。ゆり組さんもきく組さんも、それぞれに、子どもたち32人の個性が溢れ、担任の先生と一緒に積み重ねて来た「学級の歴史」がたっぷり詰まった、とても楽しいものでした。これはほんの一部のレポートです！



【チャレンジ】 新しいことや苦手なことにくじけず挑む気持ちは幼児期に育まれて一生を左右すると言われます。運動系のチャレンジは子どもにとって達成感を味わわせ易いものです。チャレンジに終りは無い事はオリンピック選手と同じですね。



【招待状】 子どもたちは、こちらが思うよりも「来て欲しい！自分を見て欲しい！」という気持ちをもっています。そんな思いを何とか伝えたくて必死に平仮名を並べます。子どもたちが文字の必要感を痛いほど感じる瞬間です。



【げき遊び】 げき遊びは、お話の世界ならではの柔軟さが魅力です。劇中劇ならぬ「劇中紙芝居」や「劇中マジック」・・・何でもアリです！子どもたちはサービス精神旺盛で、お家の人を楽しませようと何でも詰め込んでしまいます。そこがまたいいのです。



【げき遊び】 みんなで作ったお話だから、セリフも自然と頭に入るんです！衣装をつけると、本当にお話の世界に入った気分になって、役そのものになりきってしゃべったり動いたり。自分じゃないみたいになれるところが楽しいんですね。



【ショーごっこ】 曲がかかれば自然と体が動き出す！手作りの衣装やマイクを付けば、身も心もアイドルそのもの。飽きる事無く楽しそうに準備していただけあって、納得のステージとなりました。

【ハンドベル】 一人に1つずつの音色のベル。リズム通りに自分の音を出すのはとっても難しいことです。「あれ？合ってるのかな？」「今度はキミの番だよ！」助け合ったり教え合ったりできる楽器です。何とかメロディーが聴き取れますように！祈るように聴きました。

